

平成25年度

事業報告書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

平成25年度事業報告

平成25年度は公益財団法人に移行して2年目を迎え、財団の設立目的に掲げております「京都市世界文化自由都市宣言」の理念にのっとり、これまで以上に京都市の文化芸術振興の担い手として、市民の皆様により一層満足度の高いサービスを提供できるよう創意工夫を重ね、市民が生きがいのある文化的生活を享受できる社会づくりに貢献して参りました。

ロームシアター京都につきましては、平成28年1月のオープニングに向けて、本年度より指定管理者として、財団がこれまで培ってきた管理運営ノウハウを活かし、ロームシアター京都の再整備事業に尽力して参りました。

また、京都コンサートホールと5つの文化会館につきましては、指定管理者として2期目の3年目を迎え、各事業に一層注力し、果たすべき役割を着実に実行して参りました。

京都市交響楽団におきましては、常任指揮者として6年目を迎えた広上淳一のもと、これまで培ってきた京響の特色をさらに充実して参りました。

さらに、当財団が末永く指定管理者の選定を受けていくために、平成25年度から人事管理の諸ルールを刷新し経営の安定化を図るとともに、働きがいのある職場づくりを目指して人事給与制度を改定しました。また、財団を取り巻く環境は様々な節目を迎えることから、平成26年度から3箇年を計画期間とした「新中期経営計画2016」を策定しました。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 自主・共催事業 [全37事業53公演4講座]

1 「第17回京都の秋 音楽祭」の開催 [9月15日(日)～11月30日(土)]



京都が世界に誇る文化芸術都市であることを国内外へアピールする、財団の基幹事業である「第17回京都の秋 音楽祭」を開催しました。また京都コンサートホールは、京都における舞台芸術振興の中心的役割を担う「地域の中核劇場・音楽堂」として文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業」助成を受けました。

(1) 多くの京都市民を招待

「第17回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」には、市民400名を無料招待し、常任指揮者広上淳一指揮による京都市交響楽団の演奏で、華やかにフェスティバルを開幕しました。

(2) 芸術水準の高い演奏会を中心とする鑑賞型事業

音楽と芸術の都プラハとパリから「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」と「パリ管弦楽団」を招き、市民に最高水準の芸術鑑賞の機会を提供や、京都賞受賞の作曲家リグティに焦点をあてたコンサート「生誕90年記念 リグティ・ジェルジュ」を開催し、音楽による国際交流に寄与しました。

(3) 『音楽の檜舞台 京都コンサートホール』を発信する教育事業

京都市立芸術大学など関西の音楽大学8校が集結する「第3回関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」を開催し、大学単独では出来ないオーケストラ・プレイヤー養成に貢献しました。コンクールとは違ったかたちで若手音楽家たちにとっての“音楽の檜舞台”の役割を果たしました。

2 質の高い演奏会の開催

(1) 財団ならではの企画力による名曲シリーズ

ホールと実演団体をあわせて運営する財団ならではの企画として、小編成アンサンブルの魅力と幅広い作品を提供する「室内オーケストラへの招待」を新たにスタートしました。

(2) ピアノ・リサイタルの充実

ピアノ・リサイタルを本格的な演奏家の登場により開催しました。新進ながら世界的に評価の高いユジャ・ワン氏ら実力者3名と、田隅靖子京都コンサートホール館長による趣向を凝らしたプログラムでピアノ・ファンの期待に応えました。

3 財団のコーディネート力を活かして幅広い音楽ジャンルを提供

(1) クラシック音楽ファンのすそ野の拡大

価格（ワンコイン）や公演日時（平日昼間）を工夫し、市民の皆様が参加しやすく、クラシック音楽の魅力を多くの方々に知っていただくため、田隅館長のお話で進行する「おんがくア・ラ・カルト」を開催しました。

(2) 北山地域活性化事業と連携した「京都ミュージック・プロムナード」

（東日本大震災チャリティーコンサート）

東日本大震災からの復興を願って、京都市の音楽財産である京都市交響楽団、市立芸術大学、市立京都堀川音楽高等学校、京都市ジュニアオーケストラ、京都市少年合唱団が一堂に会し、チャリティーコンサートを開催しました（義援金としてチケット売り上げの一部を一般財団法人音楽の力による復興センター・東北へ寄付）。当日はホール周辺において、北山街協同組合や地域の文化団体などとともにイベントを開催し、地域振興にも努めました。

(3) 市民参加による音楽文化の振興



一般公募により選ばれた市民演奏家が腕前を披露する「リレーコンサート」を開催しました。また「生誕90年記念 リゲティ・ジェルジュ」では、プレイメントとして、市民から借り受けた100台のメトロノームを使った、現代音楽の実演を行い、新聞に取り上げられるなど、大きな反響がありました。

(4) 幅広いニーズに応える公演の開催

ア 姉妹都市や芸術都市からの音楽使節

本年も京都市の姉妹都市から優れた楽団を招聘し、京都市民の国際交流に貢献しました。姉妹都市提携50周年を迎えたドイツ・ケルン市からは、「ケルン・アカデミー・オーケストラ」が来演。両市長が鑑賞し、多くの提携行事の中心事業の1つとなりました。またプラハ市からは「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」が、パリ市からは「パリ管弦楽団」が来演しました。ドイツの旧都ライプツィヒからは世界最古の民間オーケストラである「ゲヴァントハウス管弦楽団」も登場するなど、姉妹都市や芸術都市が育んだ優れたオーケストラの演奏を提供しました。

イ 多彩な舞台芸術の紹介

日本の伝統音楽を新しい形態で演奏する「邦楽アンサンブル みやこ風韻」や、「エベーン弦楽四重奏団」によるクラシックからジャズまでの優れた演奏など、多彩な舞台芸術を市民に紹介しました。

ウ 日本有数のパイプオルガンを活用した事業

50回の節目を迎えた「オムロン パイプオルガンコンサートシリーズ」を年3回開催しました。また、子ども達にパイプオルガンの仕組みをわかりやすく説明するとともに、実際に楽器に触れてみるレクチャー付きの「パイプオルガンもの知り博士」や親子でクリスマス音楽を楽しむ「クリスマスコンサート」を開催しました。

(5) 未来の音楽芸術を担う若手音楽家や青少年の育成・支援

次代の文化芸術の担い手や鑑賞者の育成を図るとともに、文化芸術を通してコミュニケーションを促進し、青少年の健全な育成に寄与しました。

具体的な内容については、以下の記述（ア～ウ）のとおりです。

ア 未来の音楽家の育成事業

平成17年度に設立した「京都市ジュニアオーケストラ」は、京都市交響楽団楽団員の演奏指導のもとに運営し、その1年間の成果として「第9回京都市ジュニアオーケストラコンサート」を開催しました。「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル」と相まって、将来の実演家の養成に貢献しました。

イ 新しい鑑賞者の育成事業



京都市内全ての小学生が京都市交響楽団による、クラシック音楽の演奏機会に接することができる「小学生のための音楽鑑賞教室」を5日間10公演開催しました。また、「子どものための“音楽のトビラ”」と題して、世界的にも珍しい糸電話の原理を利用した楽器『ストリングラフィ』をご紹介しました。

ウ 音楽芸術の人材育成のための支援制度

音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会や中学校・高等学校の吹奏楽部の演奏会など8事業を支援しました。

(参考) 平成25年度京都コンサートホール ホール利用助成金制度実施実績

事業名	事業日	主催者
立命館大学交響楽団 第109回定期演奏会	6月7日(金) 大ホール	立命館大学交響楽団
京都大学交響楽団 第193回定期演奏会	6月27日(木) 大ホール	京都大学交響楽団
京都大学交響楽団 第194回定期演奏会	2014年 1月10日(金) 大ホール	京都大学交響楽団
Libre Brass Quintet 1st Concert	3月4日(火) アンサンブルホールムラタ	Libre Brass Quintet
京都市立修学院中学校 吹奏楽部 定期演奏会	3月25日(火) 大ホール	京都市立修学院中学校 吹奏楽部
大谷中学高等学校吹奏楽部 第50回定期演奏会	3月26日(水) 大ホール	大谷中学高等学校吹奏楽部
京都府立北稜高等学校 吹奏楽部 定期演奏会	3月27日(木) 大ホール	京都府立北稜高等学校 吹奏楽部
京都府立向陽高等学校 吹奏楽部 第29回定期演奏会	3月27日(木) アンサンブルホールムラタ	京都府立向陽高等学校 吹奏楽部

(6) フランチャイズ・オーケストラ《京都市交響楽団》を活用した事業

「京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」や「室内オーケストラへの招待」シリーズなど京都市交響楽団が出演する演奏会に加え、京響コンサートマスター泉原隆志氏による演奏会や、楽団メンバーによる「ブラスアンサンブルの夕べV o 1. 9」, 「京都 ラビッシュ アンサンブルV o 1. 10」, 「木管アンサンブルの夕べ」などクラシック音楽の振興及び発信を行いました。

II 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を十分に果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため営業の強化に努め、京都市民の文化芸術の活動拠点となるよう、利用の促進に努めました。

ア 利用率目標達成度

区 分	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度
利用率(日数)の目標値 大ホール	55%	58%	65%	69%
利用率(日数)の実績値 大ホール	58%	55%	69%	67%
目 標 達 成 度 大ホール	105.4%	94.8%	105.6%	97.1%
利用率(日数)の目標値 アンサンブルホールムラタ	47%	52%	58%	61%
利用率(日数)の実績値 アンサンブルホールムラタ	53%	57%	60%	57%
目 標 達 成 度 アンサンブルホールムラタ	112.7%	109.6%	104.1%	93.4%

イ 入場者数

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入場者数の目標値	244,495名	244,495名	260,000名	320,000名
入場者数の実績値	255,072名	249,499名	307,836名	298,415名
目 標 達 成 度	104.3%	102.0%	118.3%	93.2%

ウ 利用料金収入

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ホール料金収入	180,751千円	174,786千円	207,578千円	203,541千円
駐車場利用収入	23,908千円	21,849千円	23,319千円	23,105千円
計	204,659千円	196,635千円	230,897千円	226,646千円

(2) 施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から18年が経過しました。このため、施設の所有者である京都市の施設改修工事・修繕のほか、財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修・修繕に取り組みました。

(参考) 主な修繕事例（財団施工分）

修 繕 内 容
楽屋トイレ人感センサー及び暖房洗浄便座取付修繕
アンサンブルホールムラタ入口前照明取付修繕
大ホール1階女子トイレ扉開閉角度調整修繕
大ホール上手モニターTV及びインターカム取付修繕
事務所内蛍光灯LED化取替修繕

■ 地域文化会館

(京都市東部文化会館, 京都市呉竹文化センター, 京都市西文化会館ウエスティ, 京都市北文化会館, 京都市右京ふれあい文化会館)

地域の特性を活かした文化芸術活動の拠点となるために、地域文化芸術活動活性化協議会からの意見や提案を受け、文化会館のコーディネーターが地域の文化芸術団体や個人との連携事業やアウトリーチ事業をコーディネートするなど、文化芸術活動の活性化に向け様々な事業に取り組みました。

I 自主事業 (59事業 141公演 5講座)

1 地域の文化芸術活動活性化への取組

昨年度に続き、財団重点目標を実現するために、以下の事業を実施しました。

【重点事業】

- ① 文化芸術活動の拠点（ネットワークの中心）としての機能を強化すること
- ② 誰もが容易に文化芸術に触れ、親しむことができる環境を整備し、効果的に提供すること
- ③ 文化芸術団体等への支援により市民の文化芸術活動を活性化させること
- ④ 財団が管理するホール・会館・京都市交響楽団との相互連携による総合的運営を実現すること

(1) 地域文化芸術活動活性化協議会の開催と協議会提案事業



地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け、コーディネーターが地域の文化芸術団体や個人とコラボレーションする事業を各地域文化会館で実施しました。西文化会館ウエスティではプロ・アマチュアを問わず、地域の文化芸術団体及び個人にパフォーマンスを行う場所（創造活動室）を提供する「ウエスティ・パフォーマンス広場」を開催し、地域の文化芸術の活性化に寄与しました。具体的にはバロック音楽の演奏及び楽器紹介や、夕方に家族での鑑賞してもらうため馴染みのある曲を演奏した吹奏楽のコンサートを実施しました。また、東部文化会館ではアウトリーチ事業の協力団体と開催団体とのマッチングイベント「ナイスミート@エコム」を開催しました。

(2) アウトリーチ活動の本格的な実施



市民の文化芸術活動への参加を促進し、地域の文化施設や教育機関、さらに文化芸術団体等とのネットワークを形成するため、コーディネーターが地域文化芸術活動活性化協議会からの意見等を受け、アウトリーチ活動協力団体と受入施設の登録を募り、学校等の教育施設、病院や福祉施設、商業施設等に派遣し、ワークショップやミニコンサートを実施する事業をスタートさせ、市民が身近に芸術や文化に触れていただくことができました。平成25年度にはアウトリーチ活動協力団体51団体、開催団体(受入施設)52団体が登録されました。具体的活動として、右京ふれあい文化会館の協力団体「NEO吹奏楽団」は京都市嵯峨野児童館でコンサートを開催し、児童及び保護者をはじめ、近隣の住民も参加されるなど、地域の文化芸術活動の活性化につなげることができました。東部文化会館ではあし笛とギターアンサンブルの団体「湖風音(こぶね)」によるミニコンサートを近隣の寺社や小学校で開催するとともに、呉竹文化センターの協力団体である京都大学落語研究会は近隣の老人ホーム等において落語会を開催し好評を得ました。

(3) 文化会館コーディネーターによる文化芸術活動パワーアップ支援事業の実施

演劇、舞踊、伝統芸能などの舞台芸術や絵画・工芸品の作品展示など幅広い市民の文化芸術活動に対し、経費の一部を助成するとともに、各地域文化会館のコーディネーターが施設活用や舞台づくりのアドバイスを行い、芸術性や創作性の向上に向けた支援を行う「文化芸術活動パワーアップ支援事業」を継続実施して参りました。

本年度の支援対象事業は東部文化会館の「京都弦楽合奏団ウインターコンサート」他1件、呉竹文化センターの「アニメ・ゲーム音楽による地域の大学・学校吹奏楽部との合同演奏」他1件、西文化会館ウエスティの「プチ・アミーゴのためのおんがくかい」、右京ふれあい文化会館の「合唱とフォーク音楽のひととき」他2件を支援しました。

(4) 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施



文化芸術活動の活性化やネットワークの強化を図るため、鑑賞型の無料公演に加えて、各地域文化会館の内外で、地域子どもたちを対象に生演奏を聴かせるミニコンサートや楽器体験、楽器講習会などの教育プログラムを教育機関、地元の企業とも連携し実施しました。呉竹文化センターのパートナー団体である京・伏見音楽サークル和音は「和音 初夏の音楽会みんなであそぼ♪」において、色々な楽器の音を聴いてもらうなど幼児が普段体験しないことを親子で感じてもらう教育プログラムを開催しました。

(参考) 平成25年度パートナーシップ団体

会館名	パートナーシップ団体
東部文化会館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル
呉竹文化センター	墨染交響楽団 京・伏見音楽サークル和音
西文化会館ウエスティ	特定非営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団 吹奏楽団京都ムジークフェライン
北文化会館	同志社交響楽団 吹奏楽団「雅」
右京ふれあい文化会館	京都ウインドオーケストラ NEO吹奏楽団

※文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

芸術文化活動を行う団体（演劇、音楽、ダンス）等に文化会館を活動拠点として提供し、会館のパートナーとして地域の文化芸術活性化にも取り組むもので、

- 1 ホールを練習場所として提供する
- 2 市民との交流を深め、地域の文化芸術を活性化するための公演、ワークショップ、教育プログラム、地域文化イベントへの参加を行う
- 3 パートナーが行う公演については、当該団体、当財団の共催事業とする

2 教育機関との連携及び教育活動への支援



中学校・高等学校の吹奏楽部の音楽活動を支援するため、東部文化会館では山科・醍醐地域の中学校・高等学校の吹奏楽部による「ブラスバンド・イーストフェスティバル」、西文化会館ウエスティでは西京区内の中学校吹奏楽部による「ウエスティ吹奏楽祭」、右京ふれあい文化会館では右京区内の中学校吹奏楽部・音楽部による「右京ふれあい合同演奏会」を開催しました。また、京都市立

芸術大学との連携により、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ音暦（おとごよみ）」を2公演、北文化会館では「京芸ルネッサンス2013 文化会館コンサートシリーズ」を2公演開催しました。

3 地域の芸術・芸能の振興



東部文化会館では「平家女流歌人と小野小町」と題して、小町伝説の歴史について講演や地域に伝わる「はねず踊り」を披露し、呉竹文化センターでは「港町伏見の歴史と淀川三十石船舟唄」と題して、伏見港の歴史や継承会による三十石船舟唄を披露しました。また、北文化会館では「京都・夏の学生狂言の会」と題して、京都市内大学の能楽研究会などによる狂言を披露するなど、市民の方々に伝統芸能を

深く知ってもらう伝統芸能掘り起し事業を開催しました。

4 市民参加をプロデュース



多くの市民の皆様が文化芸術活動に参加し、自己表現する楽しさや難しさを体感できる機会を提供するため、引き続き市民の舞台芸術活動を発表する機会として「市民創造ステージ」を3館（東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ）で開催しました。また、北文化会館では、近隣に多くの大学が立地していることから、北区を中心とした大学音楽サークルによる合同演奏会「KITABUN

UNミュージックフェスティバル」を、東部文化会館では、地域のコーラス団体による合同発表会「第9回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐」を開催し、地域の文化芸術活性化を図りました。

5 世界の民族音楽に触れる機会を提供



国際都市「京都」ならではの企画として、市民が世界の民族音楽に触れ、関心や理解を深める機会として右京ふれあい文化会館において「右京ワールドミュージックフェスタ2014」を昨年度に引き続き開催しました。アフリカゴスペル、ケルト・北欧音楽、アルゼンチンタンゴ、アイヌ民族のお話しと唄、モンゴル民話などの公演に加え、トンガントン（竹で作る楽器）、マトリショーシカ絵葉書塗り絵などのワークショップやその他雑貨民族品の販売・展示、フードコーナーでの世界の食の販売など、会館の1階フロア全てを使用して開催しました。

6 質の高い映画文化の振興

芸術性の高い上質な映画作品を鑑賞する「映画上映会」では、ゴールデンウィークに「東京家族」を5館で開催し、1,939名に入場いただくなど、映像芸術の振興を図りました。

7 親子で参加できるコンサート

東部文化会館、西文化会館ウエスティ、右京ふれあい文化会館では、幼児を連れた家族を対象にした「親子で楽しむファミリーコンサート2013」、右京ふれあい文化会館では「ハッピーオータムコンサート」、北文化会館では「KITABUN 0歳児からのクラシック」を開催しました。延べ1,743名に入場いただきました。

8 市民が京都市交響楽団とふれあう機会を提供



京都市交響楽団との連携事業は、新たに京都しんぷおにえったによる「ちょっと素敵な朝からクラシック」を呉竹文化センターで2回開催しました。入場料を500円に設

定し、シニアから子どもまで楽しめるおなじみの曲目の演奏と楽団員による楽しいトークもあり大変好評を得ることができ、延べ1,000名に入場していただきました。また、昨年度に引き続き、京響楽団員による「なるほどサポート」を開催し、地域の中学校の吹奏楽部の生徒を対象とした楽器講習会を実施し、プロによる楽器指導を直接受ける機会を提供することにより中学生の演奏技術の向上に寄与しました。

II 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業の強化に努めるとともに割引制度などを導入し利用の促進を図りました。

東部文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用率（日数）の目標値	59%	62%	61%	61%
利用率（日数）の実績値	60%	58%	60%	58%
目 標 達 成 度	101.7%	93.5%	98.4%	95.0%

イ 入場者数及び利用料金収入（平成23年度から利用料金制導入）

区 分	平成24年度	平成25年度
入場者数（ホール）数値	50,928名	44,781名
利 用 料 金 収 入	30,719千円	30,505千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	—	1,014千円

※有料駐車場は平成25年10月1日から運用開始

呉竹文化センター

ア 利用率目標達成度

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用率（日数）の目標値	63%	64%	69%	73%
利用率（日数）の実績値	68%	78%	77%	75%
目 標 達 成 度	107.9%	121.9%	111.6%	102.7%

※平成23年度から24年度においては、舞台設備吊物修繕により利用可能日が減少

イ 入場者数及び利用料金収入（平成23年度から利用料金制導入）

区 分	平成24年度	平成25年度
入場者数（ホール）数値	61,711名	68,927名
利 用 料 金 収 入	39,886千円	41,132千円

西文化会館ウエスティ

ア 利用率目標達成度

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用率(日数)の目標値	53%	55%	60%	60%
利用率(日数)の実績値	49%	58%	58%	61%
目 標 達 成 度	92.5%	105.5%	96.7%	101.6%

イ 入場者数及び利用料金収入(平成23年度から利用料金制導入)

区 分	平成24年度	平成25年度
入場者数(ホール)数値	32,641名	33,995名
利 用 料 金 収 入	30,403千円	33,285千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	3,483千円	6,202千円

北文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用率(日数)の目標値	76%	76%	80%	80%
利用率(日数)の実績値	78%	80%	78%	69%
目 標 達 成 度	102.6%	105.3%	97.5%	86.2%

イ 入場者数及び利用料金収入(平成23年度から利用料金制導入)

区 分	平成24年度	平成25年度
入場者数(ホール)数値	40,500名	38,503名
利 用 料 金 収 入	37,389千円	37,402千円

右京ふれあい文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用率(日数)の目標値	63%	65%	73%	75%
利用率(日数)の実績値	72%	78%	74%	74%
目 標 達 成 度	114.3%	120.0%	101.4%	98.6%

※平成23年度においては、レコーディングによる長期間のホール利用あり

イ 入場者数及び利用料金収入(平成23年度から利用料金制導入)

区 分	平成24年度	平成25年度
入場者数(ホール)数値	35,561名	36,626名
利 用 料 金 収 入	36,799千円	35,923千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	4,420千円	6,025千円

(2) 舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術，舞台音響，舞台照明等に関する企画業務を受託しました。

これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し，利用者はもとより，観客に満足していただける舞台運営に努めました。

(参考) 平成25年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会館名	受託件数	受託内容	収入金額
東部文化会館	16件	バレエ・保育園・舞台・音響チーフ他	260,400円
呉竹文化センター	12件	バレエ・演劇・日舞照明プラン・舞台・音響チーフ他	493,500円
西文化会館ウエスティ	10件	老人クラブ・幼稚園等照明プラン・舞台他	205,800円
北文化会館	11件	区民まつり・大学チアリーディング等照明プラン・舞台チーフ他	168,000円
右京ふれあい文化会館	6件	ダンス・バレエ照明・音響プラン他	199,500円
計	55件		1,327,200円

(3) 施設・設備の維持管理

東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティといずれも開設から相当な年月を経ています。このため，施設の所有者である京都市による施設改修工事・修繕のほか，財団でも，京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修・修繕に取り組みました。

(参考) 主な修繕事例（財団施工分）

会館名	修繕内容
東部文化会館	舞台設備カスミ幕諸幕縫製修繕
呉竹文化センター	受電設備遮断器取替修繕
西文化会館ウエスティ	ホール親子室壁面修繕
北文化会館	空調機インバータ取替修繕
右京ふれあい文化会館	有料駐車場精算機修繕

■ ロームシアター京都

平成25年2月の京都市会における議決を受け、平成25年度から平成28年度までの4年間について、指定管理者としてオープンに向けた準備業務及び運営を行うことになりました。平成25年度はその初年度として、オープニング及びオープニング・プレ事業、貸館・施設管理、設計・工事、広報・宣伝・営業に係る準備業務等について、各段階に応じた業務を計画的に実施し、平成28年1月の開館を目指し準備を進めました。

I 平成25年度における準備業務報告

1 制作に関する業務

制作に関する業務につきましては、開館前に行うオープニング・プレ事業、開館後に行うオープニング事業、2年目以降も継続することを想定して行う自主事業の企画・制作・調整を開始しました。

オープニング事業の内容を決定する「ロームシアター京都オープニング事業検討委員会」の事務局を担い、記者会見の実施やこれまでの経験を生かしながら事業内容の提案を行うなど、委員会の運営にあたって参りました。また、オープンを記念して通常の貸館申込よりも早く使用を受付ける、「冠事業」第1期の募集を実施しました。

【主要な取組】

- (1) ロームシアター京都オープニング事業委員会の開催（3回開催）
- (2) 冠事業の募集開始（第1期受付：平成26年3月17日～31日）
- (3) オープニング事業、オープニング・プレ事業の事業企画書および収支予算書の作成
- (4) 助成金獲得のための計画立案、および賛助会員制度の立案

2 施設設備および運営に関する業務

施設設備及び運営についての業務につきましては、再整備の実施設設計が行われる際に、設計段階で指定管理者（運営者）の立場から助言等を行って参りました。特に、施設に設置する設備備品のリストや配置計画の作成・提案を行い、施設備品の調達への協力を行いました。

【主要な取組】

- (1) 設計会議への出席
- (2) 京都市購入備品の仕様書案作成及び入札作業補助
- (3) 施設管理事務スペースの検討及び購入備品計画の立案
- (4) 舞台打合せマニュアルの作成

3 管理に関する業務

管理に関する業務に関しては、36箇月前から受付を開始することとしているMICE等全館利用の催し物など、ロームシアター京都の目的に合致した施設利用の受付を開始しました。また、平成26年度から開始する一般の貸館受付を行うに当たって必要なシステムの詳細確認、台帳の作成、貸館に関わる利用案内、各種申請書、登録書等の書式の作成等、貸館受付業務が可能になるよう準備を行いました。

また、貸館に向けた職員研修の実施、施設運営マニュアルの作成等を行い、平成26年度から本格的に始まる受付業務に備えました。

さらに、賑わいスペース事業運営業者とともに岡崎地域の賑わい創出につながるサービス・機能・企画について協議を開始しました。

【主要な取組】

- (1) 説明会資料（利用案内）の作成
- (2) 内定書・請求書等、各種利用手続きに関する書式の作成
- (3) 施設運営マニュアルの作成
- (4) 賑わいスペース事業のアウトラインの作成
- (5) 企画会議、施設利用審査会議の要綱作成

4 広報・営業に関する業務

広報・営業に関する業務につきましては、ロームシアター京都の起工式や貸館についての情報掲載をはじめ、適宜情報発信を行って参りました。

また、京都コンサートホール等ですでに当財団が運営しているチケット販売システムを統合した、新たなシステム構築に向けた準備を開始し、ロームシアター京都のメール顧客会員としての友の会制度を立案いたしました。

【主要な取組】

- (1) 広報宣伝計画の作成
- (2) WEBサイトにて情報掲載（起工式、貸館受付に必要な情報、冠事業等）
- (3) 友の会制度の立案
- (4) チケット販売システムの検討

■ 京都市交響楽団

I 自主事業（24事業28公演）

常任指揮者として6年目を迎えた広上淳一のもと、これまでに培ってきた京響の特色をさらに活かし、古典派から近・現代そしてポピュラーな楽曲まで幅広く魅力的なプログラミングに取り組むとともに、国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、京響＝広上でしか聴けないオリジナリティーあふれる演奏会を開催しました。

また、時宜に応じた適切な広報活動を行ったことにより、定期・特別演奏会全15公演（定期11公演，特別4公演）や4年ぶりに開催した東京公演においてもチケットが完売するなど、多くのお客様にご来場いただき、大変好評を得ました。

1 定期演奏会

ベートーヴェンの「交響曲第3番『英雄』」やモーツァルトの「ピアノ協奏曲第23番」をはじめ、チャイコフスキーの「交響曲第6番『悲愴』」やR. シュトラウスの「交響詩『英雄の生涯』」、ストラヴィンスキーの「春の祭典」など、古典派から近・現代までのレパートリーをバランスよくプログラミングした演奏会を開催しました。

また、指揮者には、常任指揮者の広上淳一やNHK交響楽団正指揮者の尾高忠明、広島交響楽団音楽監督兼常任指揮者の秋山和慶をはじめ、ドイツの伝統を引き継ぐ円熟の名匠マックス・ポンマーや、フランス国立ロワール管音楽監督及びミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響首席指揮者として活躍するジョン・アクセルロッド、北西ドイツ・フィル首席指揮者及びポメラニア・フィル首席客演指揮者を務める若き俊英ユージン・ツィガンなど国内外の若手から巨匠まで幅広く迎え、ソリストには、ヴァイオリニストの神尾真由子、ワディム・レーピン、チェリストのエンリコ・ディンド、ピアニストの小菅優、ニコライ・ルガンスキーといった実力派を招き、充実した魅力ある演奏会の提供に努めました。

2 特別演奏会

（1）スプリングコンサート

「学生の街・京都」「文化芸術の街・京都」をアピールし、学生や市民の皆様に気軽にリーズナブルにクラシック音楽を楽しんでいただくため、常任指揮者・広上淳一の指揮のもと、シンガーソングライターのKANをゲストに迎え、前半は同氏のオリジナル楽曲をオーケストラアレンジしたものを、後半はベートーヴェンの傑作「交響曲第5番」を演奏しました。

学生をはじめ、幅広い年齢層のお客様にご来場いただくことができました。

（2）第九、ニューイヤーコンサート

年末恒例の第九コンサートは、2010年の定期演奏会における名演で聴衆をうならせたモーシェ・アツモンのタクトにより2日間の公演を実施しました。

また、ニューイヤーコンサートには、指揮者に常任指揮者・広上淳一を、ソリストに京響コンサートマスター・泉原隆志と首席ヴィオラ奏者・小峰航一を迎え、モーツァルトの「協奏交響曲」やR. シュトラウスの「歌劇『ばらの騎士』組曲から『ワルツ』」等、新年を迎えるにふさわしい華やかな曲目をお楽しみいただきました。

3 市外公演

恒例の大阪特別公演及び名古屋公演では、常任指揮者・広上淳一の指揮でピアノに山本貴志（大阪特別公演）、ギターに沖仁（名古屋公演）を迎え、ラフマニノフの「パガニーニの主題による狂詩曲」やラヴェルの「ボレロ」等を上演しました。

また、4年ぶりに開催した東京公演では、常任指揮者・広上淳一の指揮でピアノにニコライ・ルガンスキーを迎え、ラフマニノフの「ピアノ協奏曲第2番」やマーラーの「交響曲第1番『巨人』」を上演しました。

4 オーケストラ・ディスカバリー ―こどものためのオーケストラ入門―

「オーケストラ・ア・ラ・カルト」をテーマに、常任指揮者の広上淳一をはじめ4人の指揮者がナビゲーターとともに、どこかで一度は耳にしたことがある名曲を取り上げ、それぞれの作品の興味深いエピソードをナビゲーターが分かりやすく説明することで、音楽への理解と関心を高め、将来のクラシック愛好家の育成に寄与することができました。

また、クラシックの編成や他ジャンルとの関わりの多様さを紹介するなど、内容の充実を図り、定期演奏会への関心を促す内容としたほか、開演前にはロビーイベントを実施するなどコンサートへの参加意識を高める取り組みを行いました。

5 みんなのコンサート

市民の文化芸術活動の拠点である地域文化会館を会場として音楽の旅をテーマに全6回開催しました。低料金で（前売り800円、当日1,000円）、0歳児からシニアまで幅広いお客様を対象に設定し、演奏内容も初心者から愛好家まで十分楽しめる良質なものとするとともに、将来有望な若手指揮者の起用や、若さ溢れる京都市ジュニアオーケストラとの合同演奏を行い、若手音楽家の育成にも努めました。

6 その他

（1）楽器講習会、訪問演奏等

吹奏楽連盟の協力のもと、中学生や高校生を対象に、楽器の実技指導を2回開催しました。また、福祉施設への訪問演奏を実施するほか、京都市が開催する行事等へも参加しました。

（2）京都市交響楽団練習風景公開事業

京都市交響楽団が身近な存在であることをアピールするため、毎月1回1時間、50名程度の見学者を募集し、練習風景を一般に公開しました。

（3）京都市ジュニアオーケストラ、若手音楽家との連携

将来の音楽文化の担い手を育成し、京都の音楽文化をさらに発展させるため、京都市ジュニアオーケストラの演奏指導を行うとともに、ジュニアオーケストラとのコラボレーションによる演奏会（チャリティコンサート）を実施しました。

Ⅱ 共催事業

ポップスアーティストとのコラボレーションによる演奏会「シンフォニック・エヴォリューション with 加藤ミリヤ」や京都市内の小学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催し、クラシック音楽の普及と新たなクラシックファンの獲得を図りました。

Ⅲ 受託事業

京都市交響楽団の京都市内外での知名度の向上を図るとともに、より充実した自主事業を実施するための資金を獲得するため、京都市内外の学生を対象とした音楽鑑賞教室やびわ湖ホール主催のオペラ等、42事業について企画及び開催業務を受託しました。

■ 施設の管理運営のための取組

I 広報・営業活動

1 広報活動

(1) 広報・広告媒体の活用

ア 市関連広報媒体

- ・市政広報板 ・市民しんぶん ・G o G o土曜塾

イ 交通媒体

- ・地下鉄「北山駅」階段蹴込 ・J R「京都駅」東改札液晶サインボード
- ・地下鉄「北山駅」「烏丸御池駅」構内ポスター枠
- ・地下鉄・J R・阪急・京阪電鉄車内ポスター掲示

ウ 地域情報誌等地元媒体

- ・KYOTO VISITOR' S GUIDE
- ・FM COCOLO「KYOTO CITY INFORMATION」
- ・歳時紀行 ・京都私立病院報

エ 新聞

- ・京都新聞 ・朝日新聞 ・日本経済新聞 ・讀賣新聞

オ 音楽専門誌

- ・音楽の友 ・音楽現代 ・ぶらあぼ

(2) 自主媒体による広報

ア 会報誌「コンサートガイド」の発行

毎月／17, 000部【コンサートホール】

イ メルマガによる公演情報の発信

メルマガ会員15, 832名

ウ ホームページの活用

新鮮な情報をきめ細やかに発信できた結果、ホームページのアクセス数も伸び認知度を高めることができました。さらにホームページから「バックステージツアー」参加の告知を広く行い、当日は定員を超えるお客様に参加していただきました。

II 集客のための取組

1 京都コンサートホール

(1) 会員制度

京都コンサートホールでは、多くの音楽ファンに支えられたホール運営を進めるとともに、クラシック音楽の聴衆拡大と財団自主事業をより多くの観客に親しんでいただくため、「京都コンサートホールC l u b」, 「スペシャルメンバーズ」, の2つの会員制度を設け、固定ファンの確保及び新規ファンの拡大に取り組みました。

ア 「京都コンサートホールC l u b」 会員制度の企画・運営

多くの皆様に「京都コンサートホールのファンになっていただく」ために、チケット優先予約や割引販売などの特典を付与した会員制度を設け運営しています。

特典の1つとして、昨年度に引き続き、会員特別企画として、京都市交響楽団第568回定期演奏会（5月24日）、「京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」（9月15日）の2公演の公開リハーサル見学会を実施して、2公演で合計124名の会員に参加していただきました。

（参考）「京都コンサートホールC l u b」 会員数の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
会 員 数	2,072名	1,688名	1,905名	1,783名

イ 「スペシャルメンバーズ」 制度の企画・運営

平成11年度から、海外オーケストラを中心に複数以上の公演を組み合わせ、料金の割引等の特典を付与した会員制度として運営しています。

（参考1）「スペシャルメンバーズ」 会員数の推移と内訳

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
会 員 数	351名	412名	374名	333名
各セット	S：271	S：300	S：287	S：257
内 訳	A：80	A：112	A：87	A：76

（参考2）平成25年度対象公演

10月27日（日）	チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
11月2日（土）	パリ管弦楽団
3月22日（土）	ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団

（2）割引制度

ア 「シニア制度※」の運営

昨今の高齢化社会に鑑みて、70歳以上の高齢者を対象に、ホールへの親近感の向上と観客の拡大、また、高齢者へのサービスの一環としてシニア割引及びシニアシート（限定60席を割引販売、1公演）を実施しました。

※当日券が発売される場合、最低料金席を除く各席料金を半額にて販売。

イ 「学生制度※」の運営

「大学のまち・京都」に相応しい取り組みとして、次代を担う若い世代のクラシック音楽普及を図るため、学生を対象に、低料金で演奏会を鑑賞できる機会を提供しました。

※当日券が発売される場合、最低料金席を除く各席料金を半額にて販売。

ウ 「障がいのある方割引制度」の運営

障がいのある方にもコンサートホールに来館していただき、クラシック音楽を楽しんでいただけるよう、当財団主催事業について、障がいのある方及び同伴者1名の入場料割引を行う「障がいのある方割引制度」（10%割引）を実施しました。

（3）ウィークデーパッケージプランの運用

株式会社エフエム京都との共同により、財団がホール利用料金の一部を負担し、株式会社エフエム京都がラジオでのスポット枠（空き枠）を利用してコマーシャルを流す、平日利用限定の「京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、13事業を開催し、アンサンブルホールムラタの利用率向上に貢献しました。

（参考）平成25年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事業名	事業日	主催者
ピアノとヴァイオリンで紡ぐデュオ 最高傑作の煌めき	4月5日（金） アンサンブルホールムラタ	(有)エラート音楽事務所
浅野 祥 津軽三味線 新時代 僕らが奏でるニッポンの心	5月22日（水） 大ホール	(一財)民音音楽協会
近藤嘉宏 plays 三大ピアノソナタ ベートーヴェン・シネマ&リサイタル	7月12日（金） アンサンブルホールムラタ	シネコンサート 京都の会
NYリコッシュアンサンブル	7月26日（金） アンサンブルホールムラタ	パシフィックコンサート マネジメント
菊本和昭 トランペット リサイタル	11月13日（水） アンサンブルホールムラタ	京都新音楽協会 ミューズ
ベニー・グッドマン オーケストラ	12月3日（火） 大ホール	(一財)民主音楽協会
フィルハーモニア・カルテットベルリン	1月9日（木） 大ホール	(株)オトノワ
ハイブリッド・トロンボーン 四重奏団コンサート	2月24日（月） アンサンブルホールムラタ	ハイブリッド・ トロンボーン四重奏団
古川展生×塩入俊哉 Platinum Live GENTLE SOULS	2月27日（木） アンサンブルホールムラタ	(有)エラート音楽事務所
アロージャズオーケストラ 第102回定期演奏会	3月4日（火） 大ホール	(株)サウンドニュー
ドラマチック・タンゴ「永遠の旋律」 グレコス・タンゴ・オルケスタ	3月5日（水） 大ホール	(一財)民主音楽協会
La Loingtaine (ラ・ロワンテーヌ) の仲間達	3月14日（金） アンサンブルホールムラタ	NPO法人音楽への道CEM 長岡京室内 アンサンブル事務局
第3回東京メトロポリタン・ブラス・ クインテット京都公演	3月19日（水） アンサンブルホールムラタ	(有)エラート音楽事務所

2 京都市交響楽団

(1) 会員制度

市民の音楽文化の向上を目指すとともに、世界に羽ばたく一流のオーケストラへの飛躍を支援していただくために、京響の演奏会をプライベート・シートでお得にお楽しみいただくほか、会員限定のコンサートや「本番前リハーサル」の公開等、様々な特典、楽員との交流を付与した「京響友の会」会員制度を設けています。

個人会員にあつては、賛助会員や通年会員、半年間毎の前期・後期会員をはじめ、ライフスタイルに合わせてお楽しみいただける、開演時間別の土日マチネ・平日ソワレ会員等の会員区分を設けています。法人会員にあつては、平成21年4月に京都市交響楽団の運営が当財団に移管されたのを機に低額な法人会員区分を設け、新規ファンの獲得と固定ファンの確保に取り組んでいます。

平成25年度の実績は個人会員が1,091名、法人会員が87社でした。

(2) 割引制度

年11回開催している定期演奏会と、年末(2回)・年始(1回)に開催している特別演奏会を対象として、10枚以上ご購入のお客様に対し、10%の割引を実施しています。

また、定期演奏会及び特別演奏会において当日券が販売される場合、最低料金席を除く各席で学生券と休憩後のコンサート後半のみをお楽しみいただける後半券を特別割引価格で販売しております。

3 インターネットによる京都コンサートホール・京都市交響楽団自主事業チケット販売

平成21年度からインターネットでチケットを購入できるようにするとともに、チケット購入の際に会員登録をいただき、ご希望の会員様には定期的にウェブメールによる演奏会情報の配信(平成25年度配信回数:68回)を行うなど、チケット販売(平成25年度販売枚数:6,594枚)の促進を図りました。

(参考) インターネット会員登録数

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
新規登録数	3,594名	2,841名	3,867名	3,387名
累計登録数	5,663名	8,504名	12,371名	15,758名

4 地域文化会館

(1) 地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い、地域文化会館のホール利用を促進するため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

ア 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）、地域文化会館（ホール）のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は50%を割引く制度。

平成25年度 平日直前利用割引制度適用件数

会館名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	2件	保育所、バレエ教室等
呉竹文化センター	0件	
西文化会館ウエスティ	16件	幼稚園、舞台制作会社等
北文化会館	0件	
右京ふれあい文化会館	3件	管弦楽団、バレエ教室等
計	21件	

イ 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、利用料金を15%割引く制度。

平成25年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会館名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	46件	学校、市役所等
呉竹文化センター	59件	企業研修会、音楽教室等
西文化会館ウエスティ	32件	市立中学校吹奏学部、幼稚園等
北文化会館	38件	大学クラブ、学校関係等
右京ふれあい文化会館	43件	中等高等学校吹奏楽部、バレエ教室、幼稚園等
計	218件	

III 各種助成制度の活用及び企業協賛

自主事業の実施にあたり、次の団体・企業から助成や協賛をいただきました。

（参考）各種助成団体及び協賛企業

助成団体	文化庁（劇場・音楽堂等活性化事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 公益財団法人青山財団 公益社団法人日本オーケストラ連盟 公益財団法人アフィニス文化財団
協賛企業（5万円以上） （順不同）	オムロン株式会社 ローム株式会社 株式会社ゼロ・コーポレーション スター株式会社 京都洛東ライオンズクラブ 京都醍醐ライオンズクラブ 株式会社ドルチェ楽器

IV サービス向上の取組

1 お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成21年度に全施設に設置したCS（顧客満足度向上）会議を引き続き開催し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上の検討を行いました。

財団職員だけでなく施設で働く全部門の従事者の代表が出席し、利用者ニーズの把握、要望の検証、苦情への対処方法等を協議し、顧客の満足度の向上に向けたホスピタリティ（おもてなしの心の醸成）への追求に努めました。さらに、お客様にもっとも接するレセプションと管理職員によるミーティングを定期的に行い、なお一層のサービスの向上のため業務改善等を行いました。

2 アンケート調査の実施及びお客様ご意見箱の設置

京都コンサートホール及び地域文化会館の施設利用者及び来館者に対して、職員の受付対応についてのアンケート調査を実施し、「満足」・「不満足」・「どちらでもない」の3段階で評価していただきました。（698件回収）

（参考）アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項目	京都コンサートホール	東部文化会館	呉竹文化センター	西文化会館ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい文化会館
対応の仕方	91%	84%	100%	86%	91%	78%
身だしなみ	90%	84%	93%	86%	90%	80%
態度	90%	81%	99%	85%	89%	72%
説明の仕方	80%	84%	96%	80%	86%	76%
窓口の印象	91%	85%	97%	86%	87%	78%
会館内の快適さ	85%	84%	98%	91%	89%	89%

利用者や来館者からは、上記のとおりすべての項目において良好な評価をいただきましたが、常に利用者の目線に立ち改善を図るべく、今後も利用者からのアンケート調査を行い、今後のサービス向上の具体的な取り組みに活かして参ります。

3 ホームページの充実

広報ツールとしても重要な役割をなすホームページの充実策として、平成23年度から地域文化会館のトップページにて事業の案内を閲覧できるシステムの導入や、施設の空き情報をこれまで以上に見やすくするなど、利用者へのサービス向上を図りました。

また、京都市交響楽団のページにつきましても、これまで以上にきめ細やかな情報発信に努めました。

(参考) ホームページ月平均アクセス件数

会館名	平成24年度	平成25年度	25年度－24年度
京都コンサートホール	21,730件	21,757件	27件
東部文化会館	3,201件	3,378件	177件
呉竹文化センター	4,081件	4,597件	516件
西文化会館ウエスティ	2,887件	3,293件	406件
北文化会館	3,854件	3,878件	24件
右京ふれあい文化会館	3,918件	4,432件	514件
京都市交響楽団	35,656件	50,599件	14,943件

V 環境改善活動の取組

「環境モデル都市・京都」の取り組みとして、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、平成26年2月に継続認証を取得しました。

また、前年度に引き続き、平成25年11月に開催された「世界の京都・まちの美化市民総行動」による京都市内の美化活動に当財団職員も多数参加し、地球環境にやさしいまちづくりに貢献しました。

VI 危機管理・安全対策の取組

各施設において消防訓練の実施や、AED講習など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、当財団職員の緊急時における対応・知識力を向上させ、不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

VII 情報の収集

1 公立文化施設協議会

公立文化施設を構成員とする、公益社団法人全国公立文化施設協会、公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部、京都府公立文化施設協議会に京都コンサートホールが加盟し、事業に参画しました。

平成25年度は、京都コンサートホールが京都府公立文化施設協議会の会長として、積極的に協議会の運営に貢献しました。

2 企画運営委員会（全8回）

専門委員による常設の企画運営委員会を開催し、活力あるホール運営を目指して、委員から幅広い提言・助言をいただきました。さらに事務局から毎回違うテーマで提案及び相談事項を提出させていただき、積極的・専門的な意見をいただきました。

3 コンサートホール企画連絡会議等への参加

運営環境が類似する国内主要ホールを構成員とするコンサートホール企画連絡会議（会場：夏（事業）札幌コンサートホールKitara／冬（広報）すみだトリフォニーホール）に京都コンサートホールが参加し、事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報や意見の交換を行いました。

4 舞台芸術専門委員会

舞台芸術の専門委員による舞台芸術専門委員会を開催し、京都ならではの舞台芸術の創造や発信を目的とする舞台芸術活動の助言をいただきました。

■ 組織運営のための取組

I 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに当財団が文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

接遇・応対研修については、下記のとおりステップアップ研修を実施し、職員の接遇・応対マナーの向上に取り組みました。

また、財団の全職員がコーディネート力を向上し、市民の文化芸術活動の振興に寄与することを目的として「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援」研修を実施しました。

(参考) 平成25年度 研修内容

研修名	「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援の派遣」研修	接遇マナーステップアップ研修
実施日	1. 平成25年11月19日(火) 2. 平成26年1月22日(火)	平成26年1月14日(火)
受講人数	1. 22名 2. 22名	69名
研修内容	1. 「劇場法及び指針に基づく劇場運営と自主事業検証」 2. 「文化会館の使命」について討議・研究	研修「接遇マナーステップアップ研修」 講師 株式会社インソース 今岡 まゆみ 氏
会場	北文化会館	北文化会館

II 新人事給与制度の運用開始

平成25年4月から運用を開始した新人事給与制度により、経営の安定化を図るとともに、プロパー職員が財団運営の中心となって働きがいのある職場づくりを進めて参りました。また、人事評価制度についても導入初年度であることから、評価者研修を3回、被評価者研修を1回実施しました。

III 中期経営計画における重点課題の推進

これまでの「財団運営基本計画」及び「アクションプラン」の後継計画として平成23年5月に策定した「中期経営計画」において、指定管理期間で達成すべき経営目標を具体的な数値、指標等で設定し、その実現のための取り組みを引き続き、実施して参りました。

また、平成26年度からの3箇年についてはロームシアター京都のオープニングを迎えるなど財団にとって大きな節目を迎えることから、平成28年度までの3箇年を区切りとした「新中期経営計画2016」を策定いたしました。

IV 組織・職員

1 組織改正

平成25年8月からはこれまでの総務部、事業部及び京都市交響楽団の3部門体制から、総務部、事業企画部、業務管理部、ロームシアター京都、京都市交響楽団の5部門体制とし、ロームシアター京都支配人を配置し、指定管理業務の執行体制の強化を図るとともに業務の責任体制を明確化いたしました。

2 組織運営

次期指定管理業務の選定に備え、組織体制整備に加え、以下の会議開催により連絡体制の確立、情報の迅速な共有化等を図り円滑な財団運営に努めました。

- ① 専務理事，事務局次長，シニアマネージャー，総務部，業務管理部の部長，課長及び文化会館の各館長を構成員とする所属長会を開催（11回開催）
- ② 業務管理部長，チーフコーディネイター，文化会館担当係長及び文化会館のコーディネイターを構成員とするコーディネイター会議を開催（11回開催）
- ③ 業務管理課長，チーフコーディネイター，業務管理係長，文化会館担当係長，各文化会館の管理担当者を構成員とする管理担当者会議を開催（12回開催）

これらの諸会議を通じ、京都コンサートホール、地域文化会館、ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し、貸館業務、施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた自主事業の展開等について検討しました。

3 人事異動

平成25年4月1日付けで総数14名の人事異動を行いました。

また、平成25年8月1日付けで組織改正及び総数10名の人事異動を行い、業務の執行体制を整備しました。

(参考1) 財団職員数の推移

職名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
固有職員	35名	35名	33名	32名
嘱託職員	25名	26名	25名	28名
市からの出向職員	6名	6名	6名	6名
市派遣嘱託職員	85名	85名	92名	90名
計	151名	152名	156名	156名

※各年度すべて4月1日現在の人数とする
※平成25年度については8月1日現在の人数とする

(参考2) 財団役職別職員数の推移

職名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事務局 長	1名	1名	1名	1名
部 長 級	2名	2名	2名	5名
課 長 級	10名	11名	11名	10名
係 長 級	14名	15名	14名	16名
リ ー ダ ー (主 任)	11名	11名	14名	13名
職 員	29名	28名	23名	22名
音 楽 ス タ ッ フ	5名	5名	6名	4名
楽 団 員	79名	79名	85名	85名
計	151名	152名	156名	156名

※平成25年度から主任についてはリーダーに名称変更

V 庶務報告

1 役員会の開催

平成25年度は次のとおり、理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

(1) 第1回理事会 平成25年5月23日

- <議案>
- ・平成24年度事業報告について
 - ・平成24年度特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の保有について
 - ・平成24年度補正予算について
 - ・平成24年度決算について
 - ・京都会館オープニング事業検討委員会の設置について
 - ・平成25年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
 - ・顧問の選任について
 - ・京都コンサートホール企画・運営委員会委員及び舞台芸術専門委員会委員の選任について

(2) 第1回評議員会 平成25年6月10日

- <議案>
- ・平成24年度事業報告について
 - ・平成24年度決算について
 - ・理事及び評議員の退任について
 - ・監事の退任について
 - ・理事の選任について
 - ・監事の選任について
 - ・評議員の選任について

(3) 第2回理事会 平成25年6月10日

- <議案> ・代表理事（理事長）の選定及び解職について
・業務執行理事（専務理事）の選定及び解職について
・顧問の選任について

(4) 第3回理事会 平成25年11月22日

- <議案> ・平成26年度主要事業計画について
<報告> ・ロームシアター京都管理運営状況について

(5) 第4回理事会 平成26年3月20日

- <議案> ・新中期経営計画（案）について
・平成25年度特別寄附金の受領について
・平成25年度特定費用準備資金の保有について
・平成25年度補正予算について
・平成26年度事業計画について
・平成26年度収支予算について
・平成26年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
・京都コンサートホール企画・運営委員会要綱の改正について
・貸館等審査委員会の設置及び委員の選任について
<報告> ・理事長の決議事項である規程の改正及び制定について

2 役員の異動

(1) 第1回評議員会の承認による

ア 評議員の就任

氏名	役職（承認日現在）	就任日
奥 美里	京都市文化市民局文化芸術担当局長	平成25年6月10日
中西 たえ子	京都商工会議所女性会会長	同上

イ 理事の就任

氏名	役職（承認日現在）	就任日
長尾 真	元京都大学総長	平成25年6月10日
森川 佳昭	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	同上

ウ 監事の就任

氏名	役職（承認日現在）	就任日
宮田 英喜	京都市文化市民局共同参画社会推進部長	平成25年6月10日

エ 評議員・理事の退任

氏 名	役 職 (退任日現在)	退 任 日
評議員 岡野路子	前京都商工会議所女性会会長	平成25年6月10日
評議員 平竹耕三	前京都市文化市民局文化芸術担当局長	同 上
評議員 村井康彦	前公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	同 上
理 事 佐野 豊	京都府立医科大学名誉教授	同 上
理 事 奥 美里	前京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	同 上
理 事 藤本春治	元京都市選挙管理委員会事務局長	同 上
監 事 藤川好寿	前京都市文化市民局共同参画社会推進部長	同 上

3 登記事項

第1回評議員会による評議員・理事の変更。

氏 名	登 記 日
評 議 員 奥 美 里	平成25年6月20日
評 議 員 中 西 た え 子	同 上
理 事 長 尾 真	同 上
理 事 森 川 佳 昭	同 上
監 事 宮 田 英 喜	同 上

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として主に来館者向け駐車場として運営いたしました。

(参考)

会館名	駐車台数	駐車場収入金額
京都コンサートホール	100台	23,105,500円
東部文化会館	37台	1,014,600円
西文化会館ウエスティ	53台	6,202,800円
右京ふれあい文化会館	67台	6,025,300円
計	257台	36,348,200円

2 京都コンサートホール グッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ（9種類）や音楽に関連したグッズ（約30種類）を販売しました。

(参考)

項目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	676,187円
プログラム等販売収入	103,650円
チケット印刷	1,155,380円
計	1,935,217円

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会館名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	169件	6,707,140円
東部文化会館	4件	16,200円
呉竹文化センター	10件	69,740円
西文化会館ウエスティ	3件	12,620円
北文化会館	14件	26,820円
右京ふれあい文化会館	5件	18,230円
計	205件	6,850,750円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホール，呉竹文化センター及び右京ふれあい文化会館に設置された自動販売機の管理運営を行いました。

(参考)

会館名	収入金額
京都コンサートホール	263,192円
呉竹文化センター	271,674円
右京ふれあい文化会館	310,168円
計	845,034円

平成25年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	249,496,202	191,317,969	58,178,233
未収金	65,861,322	90,402,970	△ 24,541,648
貯蔵品	6,010,462	5,340,400	670,062
立替金	0	1,474,015	△ 1,474,015
仮払金	0	214,429	△ 214,429
前払金	102,486	0	102,486
流動資産合計	321,470,472	288,749,783	32,720,689
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	83,000,000	83,000,000	0
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
(2)特定資産			
記念事業引当資産	158,186,000	158,186,000	0
管理運営引当資産	369,305,805	369,305,805	0
退職給付引当資産	197,310,549	204,636,814	△ 7,326,265
特定費用準備資金	117,246,910	76,587,825	40,659,085
特定資産取得・改良資金	10,000,000	8,000,000	2,000,000
特定資産合計	852,049,264	816,716,444	35,332,820
(3)その他固定資産			
什器備品	9,688,830	10,791,091	△ 1,102,261
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	10,003,200	11,105,461	△ 1,102,261
固定資産合計	965,052,464	930,821,905	34,230,559
資産合計	1,286,522,936	1,219,571,688	66,951,248
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	114,927,555	105,413,757	9,513,798
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	124,048,835	105,479,010	18,569,825
預り金	36,237,638	40,881,014	△ 4,643,376
流動負債合計	275,534,028	252,093,781	23,440,247
2. 固定負債			
退職給付引当金	197,310,549	204,636,814	△ 7,326,265
固定負債合計	197,310,549	204,636,814	△ 7,326,265
負債合計	472,844,577	456,730,595	16,113,982
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産合計	55,000,000	55,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	758,678,359	707,841,093	50,837,266
(うち基本財産への充当額)	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(654,738,715)	(612,079,630)	(0)
正味財産合計	813,678,359	762,841,093	50,837,266
負債及び正味財産合計	1,286,522,936	1,219,571,688	66,951,248

貸借対照表内訳書

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	169,076,977	78,411,483	2,007,742	0	249,496,202
未収金	102,133,771	812,214	0	37,084,663	65,861,322
貯蔵品	0	6,010,462	0	0	6,010,462
立替金	0	0	0	0	0
仮払金	0	0	0	0	0
前払金	102,486	0	0	0	102,486
流動資産合計	271,313,234	85,234,159	2,007,742	37,084,663	321,470,472
2. 固定資産					
(1)基本財産					
投資有価証券	83,000,000	0	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	0	20,000,000
基本財産合計	103,000,000	0	0	0	103,000,000
(2)特定資産					
記念事業引当資産	158,186,000	0	0	0	158,186,000
管理運営引当資産	369,305,805	0	0	0	369,305,805
退職給付引当資産	161,556,395	32,745,340	3,008,814	0	197,310,549
特定費用準備資金	117,246,910	0	0	0	117,246,910
特定資産取得・改良資金	10,000,000	0	0	0	10,000,000
特定資産合計	816,295,110	32,745,340	3,008,814	0	852,049,264
(3)その他固定資産					
什器備品	8,658,855	53,450	976,525	0	9,688,830
電話加入権	314,370	0	0	0	314,370
その他固定資産合計	8,973,225	53,450	976,525	0	10,003,200
固定資産合計	928,268,335	32,798,790	3,985,339	0	965,052,464
資産合計	1,199,581,569	118,032,949	5,993,081	37,084,663	1,286,522,936
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	136,605,095	12,578,057	2,829,066	37,084,663	114,927,555
未払法人税等	0	320,000	0	0	320,000
前受金	118,715,870	5,332,965	0	0	124,048,835
預り金	16,413,971	19,668,466	155,201	0	36,237,638
流動負債合計	271,734,936	37,899,488	2,984,267	37,084,663	275,534,028
2. 固定負債					
退職給付引当金	161,556,395	32,745,340	3,008,814	0	197,310,549
固定負債合計	161,556,395	32,745,340	3,008,814	0	197,310,549
負債合計	433,291,331	70,644,828	5,993,081	37,084,663	472,844,577
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
京都市出資金	55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産合計	55,000,000	0	0	0	55,000,000
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(0)	(0)	(0)	(55,000,000)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	711,290,238	47,388,121	0	0	758,678,359
(うち基本財産への充当額)	(48,000,000)	(0)	(0)	(0)	(48,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(654,738,715)	(0)	(0)	(0)	(654,738,715)
正味財産合計	766,290,238	47,388,121	0	0	813,678,359
負債及び正味財産合計	1,199,581,569	118,032,949	5,993,081	37,084,663	1,286,522,936

平成 2 5 年度正味財産増減計算書

平成 2 5 年 4 月 1 日から平成 2 6 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,241,690	1,241,690	0	
1 基本財産運用益	1,241,690	1,241,690	0	
基本財産受取利息等	1,241,690	1,241,690	0	
② 特定資産運用益	1,288,789	2,341,242	△ 1,052,453	
1 特定資産運用益	1,288,789	2,341,242	△ 1,052,453	
特定資産受取利息等	1,288,789	2,341,242	△ 1,052,453	
③ 事業収益	1,268,812,163	1,278,081,348	△ 9,269,185	
1 自主・共催事業収益	342,025,381	340,368,799	1,656,582	
入場料収益	122,067,516	115,145,339	6,922,177	
参加料収益	1,730,400	2,580,020	△ 849,620	
スペシャルメンバーズ会費	0	14,264,000	△ 14,264,000	
友の会会費	49,789,500	46,004,000	3,785,500	
京響コーラス会費	2,503,000	2,419,000	84,000	
広告料収益	14,843,000	13,562,000	1,281,000	
共催事業収益	51,699,413	50,895,729	803,684	
助成金収益	95,848,110	92,843,000	3,005,110	
物品販売等収益	3,544,442	2,655,711	888,731	
2 事業受託収益	122,386,486	162,612,558	△ 40,226,072	
事業受託収益	122,386,486	162,612,558	△ 40,226,072	
3 管理受託収益	457,462,000	440,512,000	16,950,000	
管理受託収益	457,462,000	440,512,000	16,950,000	
4 利用料収益	336,785,180	323,414,060	13,371,120	
ホール利用料金収益	300,436,980	292,191,210	8,245,770	
駐車場利用料金収益	36,348,200	31,222,850	5,125,350	
5 その他事業収益	10,153,116	11,173,931	△ 1,020,815	
企画・演出手数料等収益	5,876,196	6,888,021	△ 1,011,825	
プレイガイド事務手数料収益	4,276,920	4,285,910	△ 8,990	
④ 受取補助金等	622,096,580	644,407,263	△ 22,310,683	
1 受取地方公共団体補助金	622,096,580	644,407,263	△ 22,310,683	
京都市補助金	622,096,580	644,407,263	△ 22,310,683	
⑤ 受取寄付金	10,000,000	0	10,000,000	
1 受取寄付金	10,000,000	0	10,000,000	
寄付金収益	10,000,000	0	10,000,000	
⑥ 雑収益	2,567,092	5,541,069	△ 2,973,977	
1 雑収益	2,567,092	5,541,069	△ 2,973,977	
受取利息等	1,985	944	1,041	
管理手数料等収益	1,977,728	2,279,214	△ 301,486	
雑収益	587,379	3,260,911	△ 2,673,532	
経常収益合計	1,906,006,314	1,931,612,612	△ 25,606,298	

平成 2 5 年度正味財産増減計算書

平成 2 5 年 4 月 1 日から平成 2 6 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
①事業費	1,835,304,446	1,817,789,710	17,514,736	
役員報酬	1,225,506	4,662,612	△ 3,437,106	
給料手当	867,308,495	873,844,521	△ 6,536,026	
退職給付費用	4,542,476	919,355	3,623,121	
臨時雇賃金	20,688,366	16,944,965	3,743,401	
福利厚生費	140,280,872	135,119,233	5,161,639	
会議費	6,793	4,122	2,671	
旅費交通費	21,328,092	23,158,381	△ 1,830,289	
通信運搬費	14,760,837	15,075,394	△ 314,557	
減価償却費	5,843,078	8,377,182	△ 2,534,104	
消耗什器備品費	4,245,781	3,151,770	1,094,011	
消耗品費	20,347,824	21,475,880	△ 1,128,056	
商品費	1,438,847	1,280,846	158,001	
見本費	29,503	6,753	22,750	
修繕費	22,900,951	20,528,407	2,372,544	
印刷製本費	26,653,278	28,582,436	△ 1,929,158	
広告宣伝費	33,977,269	34,977,883	△ 1,000,614	
燃料費	11,310	0	11,310	
光熱水料費	143,951,407	127,035,382	16,916,025	
賃借料	30,343,246	5,242,981	25,100,265	
保険料	2,135,555	2,102,991	32,564	
諸謝金	2,512,286	1,813,494	698,792	
租税公課	23,088,165	23,968,563	△ 880,398	
支払負担金	12,519,280	12,284,154	235,126	
スペシャルメンバーズチケット購入額	0	14,264,000	△ 14,264,000	
支援事業助成金	697,440	454,080	243,360	
委託費	427,140,090	434,910,108	△ 7,770,018	
接遇交際費	36,750	10,000	26,750	
支払手数料等	3,338,537	4,181,844	△ 843,307	
雑費	3,952,412	3,412,373	540,039	
②管理費	19,544,602	25,801,634	△ 6,257,032	
役員報酬	759,214	1,945,995	△ 1,186,781	
給料手当	8,640,734	7,797,347	843,387	
退職給付費用	164,476	275,536	△ 111,060	
臨時雇賃金	514,979	0	514,979	
福利厚生費	2,266,637	2,486,739	△ 220,102	
会議費	120,930	66,937	53,993	
旅費交通費	454,075	332,890	121,185	
通信運搬費	160,358	364,078	△ 203,720	
減価償却費	330,032	140,674	189,358	
消耗什器備品費	249,679	708,315	△ 458,636	

平成 2 5 年度正味財産増減計算書

平成 2 5 年 4 月 1 日から平成 2 6 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
消耗品費	680,031	840,383	△ 160,352	
修繕費	53,340	28,350	24,990	
印刷製本費	37,012	14,300	22,712	
賃借料	0	359,100	△ 359,100	
諸謝金	1,764,000	1,764,000	0	
租税公課	520,629	576,177	△ 55,548	
支払負担金	292,000	306,500	△ 14,500	
委託費	2,506,921	7,664,392	△ 5,157,471	
接遇交際費	3,202	0	3,202	
支払手数料等	21,353	108,860	△ 87,507	
雑費	5,000	21,061	△ 16,061	
経常費用合計	1,854,849,048	1,843,591,344	11,257,704	
当期経常増減額	51,157,266	88,021,268	△ 36,864,002	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 引当金戻入益				
1 引当金戻入益				
退職給付引当金等戻入益	0	0	0	
引当金戻入益計	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	51,157,266	88,021,268	△ 36,864,002	
法人税、住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	50,837,266	87,701,268	△ 36,864,002	
一般正味財産期首残高	707,841,093	620,139,825	87,701,268	
一般正味財産期末残高	758,678,359	707,841,093	50,837,266	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0	
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0	
III 正味財産期末残高	813,678,359	762,841,093	50,837,266	

平成25年度正味財産増減計算書 内訳書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業				収益事業等		法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	物品販売等 公益目的外事業	小 計			
	文化芸術事業	ウェブサイトによる 文化芸術事業							
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	1,241,690	0	0	1,241,690	0	0	0	0	1,241,690
1 基本財産運用益	1,241,690	0	0	1,241,690	0	0	0	0	1,241,690
基本財産受取利息等	1,241,690		0	1,241,690	0	0	0	0	1,241,690
② 特定資産運用益	1,241,377	47,412	0	1,288,789	0	0	0	0	1,288,789
1 特定資産運用益	1,241,377	47,412	0	1,288,789	0	0	0	0	1,288,789
特定資産受取利息等	1,241,377	47,412	0	1,288,789	0	0	0	0	1,288,789
③ 事業収益	873,607,859	373,819,728	0	1,247,427,587	140,196,560	140,196,560	19,544,602	△ 138,356,586	1,268,812,163
1 自主・共催事業収益	139,099,596	216,936,343	0	356,035,939	4,157,408	4,157,408	0	△ 18,167,966	342,025,381
入場料収益	65,703,566	56,363,950	0	122,067,516	0	0	0	0	122,067,516
参加料収益	1,730,400		0	1,730,400	0	0	0	0	1,730,400
スペシャルメンバーズ会費	17,555,000		0	17,555,000	0	0	0	△ 17,555,000	0
友の会会費	1,783,000	48,006,500	0	49,789,500	0	0	0	0	49,789,500
京響コーラス会費		2,503,000	0	2,503,000	0	0	0	0	2,503,000
広告料収益	10,303,000	4,540,000	0	14,843,000	0	0	0	0	14,843,000
共催事業収益	28,126,520	23,572,893	0	51,699,413	0	0	0	0	51,699,413
助成金収益	13,898,110	81,950,000	0	95,848,110	0	0	0	0	95,848,110
物品販売等収益			0	0	4,157,408	4,157,408	0	△ 612,966	3,544,442
2 事業受託収益	1,765,601	156,883,385	0	158,648,986	0	0	0	△ 36,262,500	122,386,486
事業受託収益	1,765,601	156,883,385	0	158,648,986	0	0	0	△ 36,262,500	122,386,486
3 管理受託収益	387,167,313	0	0	387,167,313	50,750,085	50,750,085	19,544,602	0	457,462,000
管理受託収益	387,167,313		0	387,167,313	50,750,085	50,750,085	19,544,602	0	457,462,000
4 利用料収益	345,575,349	0	0	345,575,349	72,562,121	72,562,121	0	△ 81,352,290	336,785,180
ホール利用料金収益	345,575,349		0	345,575,349	36,213,921	36,213,921	0	△ 81,352,290	300,436,980
駐車場利用料金収益	0	0	0	0	36,348,200	36,348,200	0	0	36,348,200
5 その他事業収益	0	0	0	0	12,726,946	12,726,946	0	△ 2,573,830	10,153,116
企画・演出手数料等収益	0	0	0	0	5,876,196	5,876,196	0	0	5,876,196
プレイガイド事務手数料収益	0	0	0	0	6,850,750	6,850,750	0	△ 2,573,830	4,276,920
④ 受取補助金等	0	617,122,997	0	617,122,997	4,973,583	4,973,583	0	0	622,096,580
1 受取地方公共団体補助金	0	617,122,997	0	617,122,997	4,973,583	4,973,583	0	0	622,096,580
京都市補助金	0	617,122,997	0	617,122,997	4,973,583	4,973,583	0	0	622,096,580
⑤ 受取寄付金	0	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000
1 受取寄付金	0	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000
寄付金収益		10,000,000	0	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000
⑥ 雑収益	1,985	0	0	1,985	2,577,917	2,577,917	0	△ 12,810	2,567,092
1 雑収益	1,985	0	0	1,985	2,577,917	2,577,917	0	△ 12,810	2,567,092
受取利息等	1,985	0	0	1,985	0	0	0	0	1,985
管理手数料等収益	0	0	0	0	1,977,728	1,977,728	0	0	1,977,728
雑収益	0	0	0	0	600,189	600,189	0	△ 12,810	587,379
経常収益合計	876,092,911	1,000,990,137	0	1,877,083,048	147,748,060	147,748,060	19,544,602	△ 138,369,396	1,906,006,314

平成25年度正味財産増減計算書 内訳書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業				収益事業等		法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	物品販売等 公益目的外事業	小 計			
	文化芸術事業	ワークショップによる 文化芸術事業							
(2)経常費用									
①事業費	879,649,009	955,905,386	0	1,835,554,395	138,119,447	138,119,447	0	△ 138,369,396	1,835,304,446
役員報酬	408,502	408,502	0	817,004	408,502	408,502	0	0	1,225,506
給料手当	249,486,693	552,971,727	0	802,458,420	64,850,075	64,850,075	0	0	867,308,495
退職給付費用	2,232,674	1,762,524	0	3,995,198	547,278	547,278	0	0	4,542,476
臨時雇賃金	6,603,492	7,185,442	0	13,788,934	6,899,432	6,899,432	0	0	20,688,366
福利厚生費	41,256,946	87,732,794	0	128,989,740	11,291,132	11,291,132	0	0	140,280,872
会議費	6,793	0	0	6,793	0	0	0	0	6,793
旅費交通費	3,153,194	18,072,175	0	21,225,369	102,723	102,723	0	0	21,328,092
通信運搬費	4,635,080	9,826,122	0	14,461,202	299,635	299,635	0	0	14,760,837
減価償却費	1,808,817	4,010,567	0	5,819,384	23,694	23,694	0	0	5,843,078
消耗什器備品費	2,505,932	1,381,191	0	3,887,123	358,658	358,658	0	0	4,245,781
消耗品費	10,071,525	8,046,033	0	18,117,558	2,243,076	2,243,076	0	△ 12,810	20,347,824
商品費	0	0	0	0	1,438,847	1,438,847	0	0	1,438,847
見本費	0	29,503	0	29,503	0	0	0	0	29,503
修繕費	16,709,593	2,424,362	0	19,133,955	3,766,996	3,766,996	0	0	22,900,951
印刷製本費	16,415,449	10,712,504	0	27,127,953	122,415	122,415	0	△ 597,090	26,653,278
広告宣伝費	10,500,658	23,471,524	0	33,972,182	5,087	5,087	0	0	33,977,269
燃料費	8,267	0	0	8,267	3,043	3,043	0	0	11,310
光熱水料費	121,420,605	5,876,897	0	127,297,502	16,653,905	16,653,905	0	0	143,951,407
賃借料	54,139,406	53,365,464	0	107,504,870	436,216	436,216	0	△ 77,597,840	30,343,246
保険料	483,241	1,602,909	0	2,086,150	49,405	49,405	0	0	2,135,555
諸謝金	1,948,265	559,627	0	2,507,892	4,394	4,394	0	0	2,512,286
租税公課	15,080,873	4,409,711	0	19,490,584	3,597,581	3,597,581	0	0	23,088,165
支払負担金	9,120,650	856,000	0	9,976,650	2,542,630	2,542,630	0	0	12,519,280
スペシャルメンバーズチケット購入額	17,555,000	0	0	17,555,000	0	0	0	△ 17,555,000	0
支援事業助成金	4,451,890	0	0	4,451,890	0	0	0	△ 3,754,450	697,440
委託費	286,553,663	157,521,009	0	444,074,672	21,901,748	21,901,748	0	△ 38,836,330	427,140,090
接遇交際費	0	36,750	0	36,750	0	0	0	0	36,750
支払手数料等	1,910,066	1,377,623	0	3,287,689	50,848	50,848	0	0	3,338,537
雑費	1,181,735	2,264,426	0	3,446,161	522,127	522,127	0	△ 15,876	3,952,412
②管理費	0	0	0	0	0	0	19,544,602	0	19,544,602
役員報酬	0	0	0	0	0	0	759,214	0	759,214
給料手当	0	0	0	0	0	0	8,640,734	0	8,640,734
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	164,476	0	164,476
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	514,979	0	514,979
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	2,266,637	0	2,266,637
会議費	0	0	0	0	0	0	120,930	0	120,930
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	454,075	0	454,075
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	160,358	0	160,358
減価償却費	0	0	0	0	0	0	330,032	0	330,032

平成25年度正味財産増減計算書 内訳書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業				収益事業等		法人会計	内部取引消去	合 計
	公1	公2	共 通	小 計	物品販売等 公益目的外事業	小 計			
	文化芸術事業	ワークショップによる 文化芸術事業							
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	249,679	0	249,679
消耗品費	0	0	0	0	0	0	680,031	0	680,031
修繕費	0	0	0	0	0	0	53,340	0	53,340
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	37,012	0	37,012
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	1,764,000	0	1,764,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	520,629	0	520,629
支払負担金	0	0	0	0	0	0	292,000	0	292,000
委託費	0	0	0	0	0	0	2,506,921	0	2,506,921
接遇交際費	0	0	0	0	0	0	3,202	0	3,202
支払手数料等	0	0	0	0	0	0	21,353	0	21,353
雑費	0	0	0	0	0	0	5,000	0	5,000
経常費用合計	879,649,009	955,905,386	0	1,835,554,395	138,119,447	138,119,447	19,544,602	△ 138,369,396	1,854,849,048
当期経常増減額	△ 3,556,098	45,084,751	0	41,528,653	9,628,613	9,628,613	0	0	51,157,266
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,556,098	574,334	0	4,130,432	△ 4,130,432	△ 4,130,432	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	45,659,085	0	45,659,085	5,498,181	5,498,181	0	0	51,157,266
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	320,000	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	0	45,659,085	0	45,659,085	5,178,181	5,178,181	0	0	50,837,266
一般正味財産期首残高				665,631,153	42,209,940	42,209,940	0	0	707,841,093
一般正味財産期末残高				711,290,238	47,388,121	47,388,121	0	0	758,678,359
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額				0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				55,000,000	0	0	0	0	55,000,000
指定正味財産期末残高				55,000,000	0	0	0	0	55,000,000
III 正味財産期末残高				766,290,238	47,388,121	47,388,121	0	0	813,678,359

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
当財団会計規程第21条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金については、職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額の全額を引き当てている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	83,000,000	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	158,186,000	0	0	158,186,000
管理運営引当資産	369,305,805	0	0	369,305,805
退職給付引当資産	204,636,814	2,786,952	10,113,217	197,310,549
特定費用準備資金	76,587,825	40,659,085	0	117,246,910
特定資産取得・改良資金	8,000,000	5,000,000	3,000,000	10,000,000
小 計	816,716,444	48,446,037	13,113,217	852,049,264
合 計	919,716,444	48,446,037	13,113,217	955,049,264

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	83,000,000	(55,000,000)	(28,000,000)	-
定期預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	-
小 計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	158,186,000	(0)	(158,186,000)	-
管理運営引当資産	369,305,805	(0)	(369,305,805)	-
退職給付引当資産	197,310,549	(0)	(0)	(197,310,549)
特定費用準備資金	117,246,910	(0)	(117,246,910)	-
特定資産取得・改良資金	10,000,000	(0)	(10,000,000)	-
小 計	852,049,264	(0)	(654,738,715)	(197,310,549)
合 計	955,049,264	(55,000,000)	(702,738,715)	(197,310,549)

4. 固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	81,874,368	72,185,538	9,688,830

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価並びに評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	
京都市債10年(平成20年度第5回)	83,000,000	88,096,200	5,096,200	基本財産投資有価証券
短期国庫証券(第437回)	39,996,800	39,996,000	△ 800	記念事業引当資産
短期国庫証券(第441回)	39,996,640	39,996,000	△ 640	記念事業引当資産
京都市債5年(平成23年度第3回)	100,000,000	100,540,000	540,000	管理運営引当資産
利付国債2年(第322回)	100,000,000	100,018,600	18,600	管理運営引当資産
京都市債5年(平成24年度第6回)	50,000,000	49,850,000	△ 150,000	管理運営引当資産
短期国庫証券(第437回)	39,996,800	39,996,000	△ 800	管理運営引当資産
短期国庫証券(第441回)	29,997,480	29,997,000	△ 480	管理運営引当資産
短期国庫証券(第441回)	49,995,800	49,995,000	△ 800	退職給付引当資産
京都市債5年(平成21年度第2回)	49,995,000	50,150,000	155,000	退職給付引当資産
京都市債5年(平成23年度第3回)	30,000,000	30,162,000	162,000	退職給付引当資産
京都府京都みらい債5年(平成22年度第8回)	20,000,000	19,958,000	△ 42,000	退職給付引当資産
京都府京都安心づくりみらい債5年(平成23年度第8回)	10,000,000	9,958,000	△ 42,000	退職給付引当資産
短期国庫証券(第441回)	19,998,320	19,998,000	△ 320	特定費用準備資金
合 計	662,976,840	668,710,800	5,733,960	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金				
財団運営事業補助金 交付者 京都市	0	622,096,580	622,096,580	0
受取補助金計	0	622,096,580	622,096,580	0
助成金				
芸術創造活動重点支援事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	81,400,000	81,400,000	0
劇場・音楽堂等活性化事業 交付者 文化庁	0	12,098,110	12,098,110	0
平成25年度第2回支援金 交付者 公益財団法人 青山財団	0	1,800,000	1,800,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 アフィニス文化財団	0	500,000	500,000	0
広告助成 交付者 公益社団法人 日本オーケストラ連盟	0	50,000	50,000	0
受取助成金計	0	95,848,110	95,848,110	0
合 計	0	717,944,690	717,944,690	0

財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 普通預金	手許保管	運転資金として	5,204,905
	総務課		
	京都銀行下鴨支店	〃	1,926,932
	三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	18,533,770
	京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	19,738
	三井住友銀行京都支店	〃	10,908
	三井住友信託銀行京都支店	〃	11,596
	滋賀銀行北大路支店	〃	12,746
	ゆうちょ銀行京都北山郵便局	〃	4,724,722
	業務管理課, 事業企画課		
	京都銀行下鴨支店	〃	87,417,043
	京都市交響楽団		
	京都銀行下鴨支店	〃	25,888,106
	三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	26,961,247
	京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	3,083,601
	京都信用金庫北山支店	〃	2,411,490
	三井住友銀行京都支店	〃	506,187
	りそな銀行京都支店	〃	57,268
	ロームシアター京都		
	京都銀行下鴨支店	〃	179,010
	京都市東部文化会館		
	京都銀行山科中央支店	〃	7,669,476
	京都市呉竹文化センター		
	京都銀行伏見支店	〃	15,573,602
	京都市西文化会館ウエスティ		
	京都銀行上桂支店	〃	11,296,938
	京都市北文化会館		
	京都銀行鞍馬口支店	〃	10,075,087
	京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	49,424
	京都市右京ふれあい文化会館		
	京都銀行太秦安井支店	〃	13,021,113
郵便振替	業務管理課		203,900
	京都市交響楽団		13,496,300
	京都市東部文化会館		5,300
	京都市呉竹文化センター		8,621
	京都市西文化会館ウエスティ		102
	京都市北文化会館		1,006,200
	京都市右京ふれあい文化会館		140,870
	総務課		7,650,000
	業務管理課, 事業企画課	ホール利用料金等	17,428,373
	京都市交響楽団	公演料, 助成金等	40,037,453
未収金	京都市東部文化会館	ホール利用料金等	23,156
	京都市呉竹文化センター	〃	245,480
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	147,800
	京都市北文化会館	〃	177,625
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	151,435
	業務管理課	販売用商品	253,617
	京都市交響楽団	〃	2,396,870
	京都市東部文化会館	照明用ボリカー	640,497
	京都市呉竹文化センター	〃	384,174
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,338,259
貯蔵品	京都市北文化会館	〃	508,610
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	488,435
	総務課	労働保険料	102,486
	前払金		
流動資産合計			321,470,472

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(固定資産)					
基本財産	投資有価証券 定期預金	京都市債平成20年度第5回(10年)	運用益を公益目的事業の財源と	83,000,000	
		京都銀行下鴨支店	している	10,000,000	
特定資産	記念事業引当資産	三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	10,000,000	
		国庫短期証券第437回	〃	39,996,800	
		国庫短期証券第441回	〃	39,996,640	
		定期預金 京都信用金庫北山支店	〃	10,000,000	
		定期預金 りそな銀行京都支店	〃	10,000,000	
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	52,000,000	
		〃	〃	6,192,560	
	管理運営引当資産	京都市債平成23年度第3回(5年)	〃	100,000,000	
		利付国債第322回(2年)	〃	100,000,000	
		京都市債平成24年度第6回(5年)	〃	50,000,000	
		国庫短期証券第437回	〃	39,996,800	
		国庫短期証券第441回	〃	29,997,480	
		定期預金 京都中央信用金庫北鳥丸支店	〃	10,000,000	
		定期預金 滋賀銀行北大路支店	〃	10,000,000	
		定期預金 三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000	
		定期預金 三井住友銀行京都支店	〃	10,000,000	
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	9,311,525	
退職給付引当資産	国庫短期証券第441回	退職給付引当金に充てる	49,995,800		
	京都市債平成21年度第2回(5年)	〃	49,995,000		
	京都市債平成23年度第3回(5年)	〃	30,000,000		
	京都府債第8回京都みらい債(5年)	〃	20,000,000		
	京都府債平成23年度京都安心づくりみらい債(5年)	〃	10,000,000		
	定期預金 みずほ信託銀行京都支店	〃	10,000,000		
	普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	27,319,749		
	特定費用準備資金	国庫短期証券第441回	海外オーケストラの招聘公演等	19,998,320	
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	5,001,680	
		〃	〃	6,286,403	
〃		記念公演等	85,960,507		
その他固定資産	特定資産取得・改良資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	什器備品購入	10,000,000	
		総務課	什器備品	976,525	
	什器備品	業務管理課, 事業企画課	〃	3,450,949	
		京都市交響楽団	〃	5,100,181	
		京都市東部文化会館	〃	36,566	
		京都市呉竹文化センター	〃	27,521	
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	36,984	
		京都市北文化会館	〃	32,583	
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	27,521	
		業務管理課, 事業企画課	電話加入権	314,370	
		固定資産合計			965,052,464
		資産合計			1,286,522,936
		(流動負債)			
未払金	未払法人税等 前受金	総務課	人件費等	54,941,162	
		業務管理課, 事業企画課	公演経費, ホール運営経費等	31,678,009	
		ロームシアター京都	〃	7,810	
		京都市交響楽団	人件費, 公演経費等	21,640,204	
		京都市東部文化会館	ホール運営経費等	673,914	
		京都市呉竹文化センター	〃	1,087,929	
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	2,311,026	
		京都市北文化会館	〃	1,747,277	
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	840,224	
		総務課	法人税等	320,000	
		業務管理課, 事業企画課	ホール利用料金等	60,107,460	
		京都市交響楽団	友の会会費等	38,344,750	
		京都市東部文化会館	ホール利用料金等	2,600,100	
		京都市呉竹文化センター	〃	7,337,220	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
預り金		京都市西文化会館 ウエスティ	〃	3,342,750
		京都市北文化会館	〃	6,201,805
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	6,114,750
		総務課	社会保険料等	5,007,390
		業務管理課, 事業企画課	チケット購入代金等	21,673,127
		京都市交響楽団	〃	3,828,586
		京都市東部文化会館	舞台設備料等	1,734,075
		京都市呉竹文化センター	〃	1,737,041
		京都市西文化会館 ウエスティ	〃	440,823
		京都市北文化会館	〃	303,555
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,513,041	
流動負債合計				275,534,028
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	197,310,549
固定負債合計				197,310,549
負債合計				472,844,577
正味財産				813,678,359